

新刊書紹介

「究極の粉をつくる」

次世代モノづくり発展の鍵として、今また「粉（こな）」が新に注目されています。粉はほとんどの産業分野で使われている材料形態で、その粒子設計、粒子加工によって新しい様々な機能が生まれます。粉の持つ「小さい」（粒度）、「粘々しい」（付着・凝集性）、「ばらつく」（構成粒子の多様性）と言う3大特長を上手くコントロールすることから、それぞれの目的に最も適した「究極の粉」が生まれます。

本書は、粉の秘めた無限の可能性を生かして、究極のモノづくりを目指して、粉を使いこなすための「考えるヒント」を与えてくれるユニークな構想に基づいた、読みやすい一冊となっています。

目次：

- 第1章：ばらつきのない粉をつくる
- 第2章：凝集付着しない粒子をつくる
- 第3章：ナノ粒子を完全分散させる
- 第4章：意図した場所に粒子を並べる
- 第5章：粒子を集めて「かたち」をつくる
- 第6章：粉から欠陥のない材料をつくる
- 第7章：生きた粉をつくる
- 第8章：生物から学ぶ地球に優しい粉づくり
- 第9章：産業界からの新たな挑戦

編集体制：

編著者：内藤 牧男（大阪大学）

執筆者一覧（執筆順）：

神谷 秀博（東京農工大学）

ウレット レンゴロ（東京農工大学）

大原 智（大阪大学）

向阪 保雄（ホソカワ粉体技術研究所）

山口由岐夫（東京大学）

高橋 実（名古屋工業大学）

藤 正督（名古屋工業大学）

植松 敬三（長岡技術科学大学）

福森 義信（神戸学院大学）

市川 秀喜（神戸学院大学）

梅津 光央（東北大学）

野城 清（ホソカワミクロン）

横山 豊和（ホソカワミクロン）

高木 光治（ブリヂストン）

笠井 均（東北大学）

出版社：日刊工業新聞社

体裁：A5判 244頁

特別価格：2,100円（定価:2,520円）

※送料（300円）別。ただし、3冊以上は送料無料。

